

津波地震
火災!

災害時、ドライバーは どう生き残るか

—忘れない!東日本大震災が教えてくれたこと—

いつ起きてもおかしくない次の巨大地震!そして津波!火災!
その時ドライバーはどう危険を回避すればいいか。
生き残るための知恵と行動とは何か? 東日本大震災・被災地の
ドライバーの体験、そして専門家の分析と意見に学ぶ。

放置車両の撤去実験



津波の恐ろしさ・宮古市役所提供映像
(渋滞で動けない車を津波が…)



くるま総合研究会代表が語る
生き残りのポイントは?



車両火災実験で明らかになった
事実とは?



大久保堯夫教授が緊急事態の
人間行動と心理を分析



避難中に現れる
不可解な行動

DVD



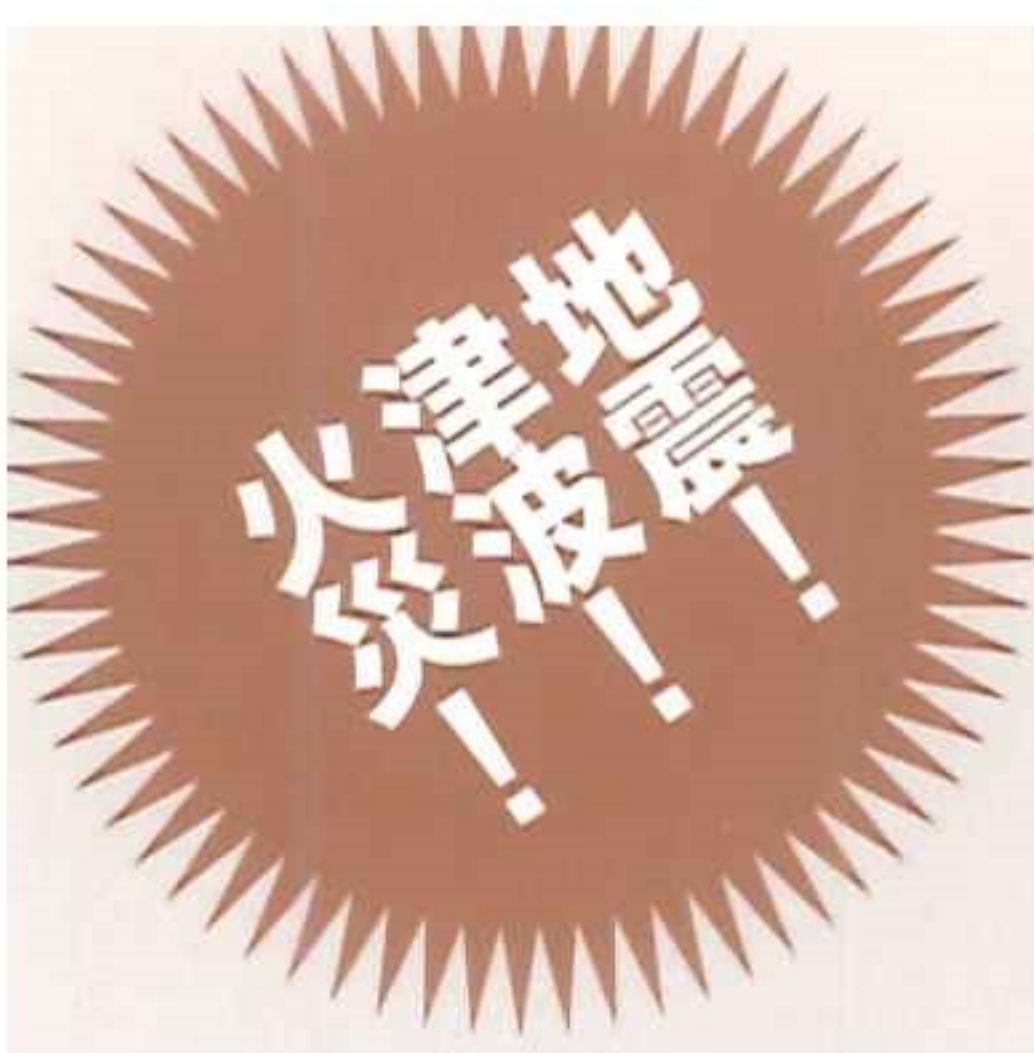
[16:9 / カラー28分]

字幕付き映像も
収録されています。

■対象：一般ドライバー及びプロドライバー、
またその教育指導者、運転管理者、
自治体等の防災担当者、自動車学校、
各企業など

ご覧になりたい項目を選んで再生することが可能です(メニュー画面内容①地震②津波③火災④緊急時の心理と行動)

●震災時の体験を語ってくださった被災地のドライバーの皆様、映像を提供くださった皆様のご協力がなければ、この作品を製作することはできませんでした。
この作品がこれからの防災に役立つことを願いつつ、心から皆様のご協力に感謝いたします。



災害時、ドライバーはどう生き残るか

— 忘れない! 東日本大震災が教えてくれたこと —

制作意図

斉藤プロダクションは、1982年より三十年にわたり交通安全教育ビデオ一筋に制作を続けてきました。東日本大震災の被害の大きさ、深さを知れば知るほど、「私たちが私たちにできることで何かしなければ」という思いに駆られました。大災害に遭遇した時にドライバーはどう行動すれば危険を回避できるのか、どうすれば大切な命を守ることができるのか。巨大地震発生 of 危険が高まっている今、この課題に取り組み、防災・交通安全教育に役立つDVDを作り、広く普及させることが私たちの使命と考え制作にあたりました。

主な内容

地震、津波、火災などの大災害が起きた時、ドライバーはどんな事態に遭遇するのか。東日本大震災・被災地のドライバーの皆様のご協力をいただき撮影した貴重な証言に専門家の分析や意見、そして実験映像などを加え、災害時にドライバーがどう行動すればよいのかを分りやすく描いています。

①地震の場合、ドライバーはどう行動すればいいか

- 「道路が波のように揺れて、ハンドル操作は無理」3.11当日運転していたタクシー運転手の証言(岩手県大船渡市)
- 地震時のドライバーの行動について石田敏郎教授(早稲田大学安全人間工学研究室)のアドバイス(急ブレーキ、急ハンドルを避け、左に寄せる。ラジオなどで情報を収集する)
- 放置車両が道を塞ぎ、他の車が通行できない事態になったらどうするか。(車両の撤去は何人で可能かの実験・茨城県下館自動車学校において)

②津波の場合、ドライバーはどう行動すればいいか

- 車を、家を津波が襲う恐怖の瞬間(岩手県宮古市)
- 「渋滞で動けないところに津波が来て、のまれて亡くなった」被災地のドライバーの証言(宮城県石巻市)
- 車の水没実験でわかったこと。シートベルトが外れない。窓が開かない。緊急脱出するには? 相川潔氏(くるま総合研究会代表)が語る生き残るためのポイント

③火災の場合、ドライバーはどう行動すればいいか

- 地震の後は火災が発生。空から見た大規模火災(宮城県気仙沼市)
- 車両火災の実験で分ったこと。車は鉄の塊、だが一旦火がつくと…タイヤの破裂音でパニックにならずに落ち着いて対処する。

④緊急事態、人間の心理と行動はどうか

- 迫る津波! 逃げる人と車! 必死の避難現場を捉えた衝撃映像が教えてくれたこと(岩手県陸前高田市)
- 緊急時、人間の心理と行動にどんな変化が現れるか。大久保堯夫・日本大学名誉教授(労働生理学)のアドバイス

⑤普段からの心構えで大切なこと

岩手県・陸前高田自動車学校の指導員がアドバイス。緊急時マニュアル通りにはいかない。だからこそ避難訓練を繰り返しておくことが大事である。災害はいつ、どこで起こるかわからない。災害を来てほしくない災いとして考えるのではなく、生活の一部ととらえ、常に心の中で備えておく。防災用品の一例。私はこんな防災用品を車に積んでいる。緊急脱出用工具を常備しよう。

⑥生き残るために

生き残るためには、的確な状況判断と臨機応変な対応が求められる。災害時、ドライバーが生き残るかどうか。それは緊急事態の中で、何をよみ、どう行動するか、そして日頃からどう備えているかにかかっている。緊急事態だからこそ、「連携」と「協力」を! 一人ひとりのかけがえのない命をみんなで支えあうことができるような社会を目指すこと。それが東日本大震災の尊い犠牲に学ぶことではないだろうか。

企画: 斉藤宏子 制作: 斉藤健太郎 監督: 鈴木浩 撮影: 市川任男 製作: 遠山慎二
協力: 石田敏郎(早稲田大学 安全人間工学研究室) / 相川潔(くるま総合研究会) / 中丸伴能(下館自動車学校)
高田自動車学校 / 迫田商店(横浜市) / 月刊誌「マガジンX」 / 被災地の「ドライバー仲間」の皆様
映像提供: 宮古市役所 / 陸上自衛隊東北方面隊 / 大和田祐一(陸前高田市消防団) / 柳澤精一(岩手県宮古市)
監修・指導: 大久保堯夫(社)日本交通科学協議会 会長(日本大学名誉教授 労働生理学専攻)

(映) 有限会社 博映商事
TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220
【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp